

栗東市農業振興基本計画の策定について

1. 計画の背景と目的（趣旨）

栗東市農業振興基本計画（以下、本計画）は、本市の農業を取り巻く社会経済情勢等に対応し、将来に渡る持続可能な地域農業の確立及び健全な発展を図るべく、農業振興地域整備に関する法律第 8 条に定められる農地や生産基盤の整備に重点を置く市町村の農業振興地域整備計画（いわゆる「農振整備計画」）と整合を図り、多様な主体との連携に対応する本市の総合的な農業振興の最上位計画として策定するものです。

また、農業振興基本計画は、滋賀県が策定した都市農業振興計画も網羅することにより、都市的地域の特性を生かした農業振興にも焦点を当て、農業者のみならず市民（消費者）のニーズにこたえる市全域での計画策定を目標とするものです。

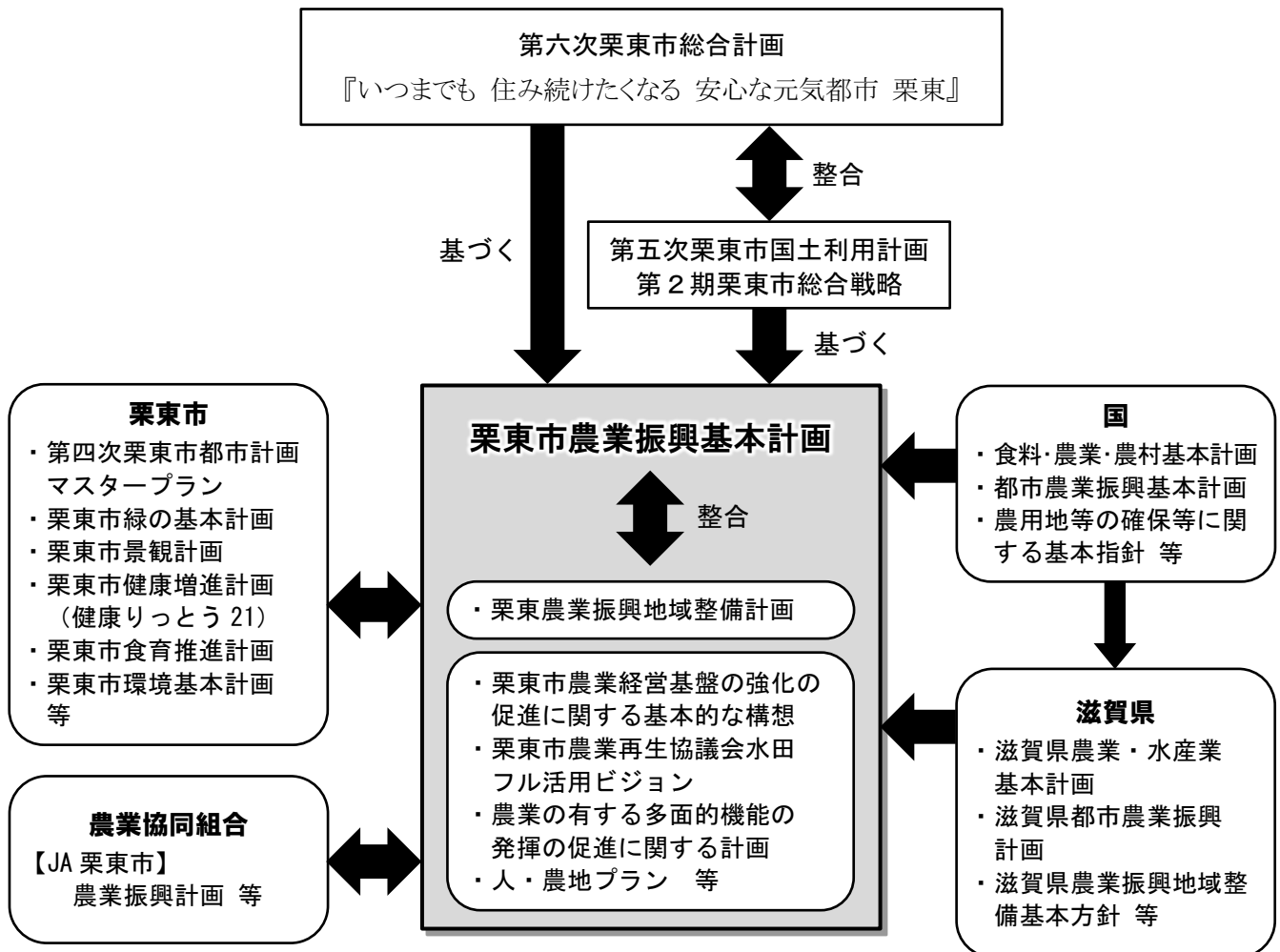
本市では、これまで農振整備計画を本市農業の最上位計画と位置づけ推進してまいりましたが、令和 2 年度からまちづくりの基本方針である本市総合計画が新たに始まることに呼応するとともに、農振整備計画の前回見直しから約 10 年が経過しようとしていることに鑑み、上位計画の策定や農業を取り巻く状況との整合を図ることはもとより、“元気ある栗東農業”として表現する本市の農業全般に関する基本的な方針を示すものとし、次の点に留意した計画を定めるものとします。

- 1) 本計画は、「栗東市農業振興基本計画」と呼称します。
- 2) 国の食料・農業・農村基本計画をはじめ、国・県で策定された各種計画等や現行の農振整備計画を見直しつつ、第六次栗東市総合計画や各種計画と整合を図りながら令和 4 年 3 月の策定を目標とします。
- 3) 本計画での計画年度は、8 年後を見越した令和 11 年を目標年度と設定し、本市の上位計画および農業を取り巻く状況との整合を図りながら、必要に応じて、3 年後となる令和 6（2024）年度に見直しを行います。
計画期間：令和 4（2022）年度～令和 11（2029）年度
- 4) 交通利便性のある都市部と自然豊かな農村部が融合する本市において、農地の保全から持続的・安定的な農業経営の確立に向けた取り組みのほか、地産地消や食育などに至るまで、市の農業全般について将来あるべき姿とそれを実現するための施策を明らかにします。
- 5) 現行の栗東農業振興地域整備計画についても、栗東市農業振興基本計画の策定と並行し見直しを図るものとします。
- 6) 栗東市農業振興基本計画では、都市農業振興基本法に位置付けられる都市農業振興基本計画についても検討を行い、計画に網羅するものとします。

2. 計画の位置付け

本計画は、本市まちづくりの最上位計画である「栗東市総合計画」等に基づくとともに、国の「食料・農業・農村基本計画」、及び滋賀県「農業・水産業基本計画」等を踏まえた、本市の農業施策に関する最上位の計画として、本市の農業他関連計画等との整合を図りつつ、国及び県、農業関係機関等の協力を経て推進していくものとします。

計画の位置付け



(1) 計画期間

(2) 計画の内容と構成（想定）

<ul style="list-style-type: none">1. 計画の策定にあたって（概要）2. 栗東市農業の現状と課題3. 栗東市農業の目指すべき方向<ul style="list-style-type: none">・ 地域の将来の望ましい姿・ 農業振興の基本目標等	<ul style="list-style-type: none">4. 施策の展開<ul style="list-style-type: none">・ 基本目標を実現するための施策・ 地域別の方針・ 地域住民等の参加の方針 等5. 計画の推進に向けて<ul style="list-style-type: none">・ 推進体制・ 計画の進行管理
--	--

- ・市民及び農業従事者をはじめとする各種関係者への意向調査等を通じて、本市農業の現状と課題を洗い出し、目指すべき方向及びその実現方策等を検討、計画に反映します。
- ・有識者や地域の農業関係者等より構成される策定委員会を設置し、計画内容を検討します。
- ・パブリックコメントを実施し、市民意見の反映並びに計画への理解と周知を図ります。

[illegible]